

## 平成 25 年度第 2 回常務理事会議事録

日 時： 平成 25 年 7 月 26 日（金） 15：00～17：50

会 場： ステーションコンファレンス東京 602CD

出席者：

理事長：小西 郁生

副理事長：岩下 光利、平松 祐司

常務理事：青木 大輔、苛原 稔、加藤 聖子、吉川 史隆、木村 正、藤井 知行、峯岸 敬、  
八重樫 伸生、吉川 裕之

監 事：落合 和徳、嘉村 敏治、吉村 泰典

特任理事：種部 恭子

理事会内委員会委員長：片渕 秀隆、久保田 俊郎、竹下 俊行、竹田 省、水沼 英樹、  
水上 尚典

幹事長：澤 倫太郎

副幹事長：阪埜 浩司

幹 事：上田 豊、梶山 広明、加藤 育民、岸 裕司、北澤 正文、桑原 章、榊原 秀也、  
佐藤 豊実、下平 和久、関根 正幸、高倉 聡、多賀谷 光、永瀬 智、西 洋孝、  
西ヶ谷 順子、増山 寿、松村 謙臣、矢幡 秀昭、山下 隆博

総会議長：佐川 典正

総会副議長：内田 聡子、清水 幸子

事務局：桜田 佳久、青野 秀雄

15：00 理事長、副理事長、常務理事の総数 12 名のうち全員が出席し、定足数に達しているため、小西郁生理事長が開会を宣言した。小西郁生理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長、監事の計 4 名を選任し、これを承認した。

冒頭、種部恭子特任理事から挨拶があった。

### I. 平成 25 年度第 1 回常務理事会議事録（案）の確認

原案通り、承認した。

### II. 業務担当常務理事報告

#### 1) 総 務（岩下光利副理事長）

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向 なし

(2) 平成 25～26 年度各委員会委員の一部変更について

平田修司先生、多賀谷光先生の未来ビジョン委員会委員および若手育成委員会委員の委嘱を外し、下平和久先生に未来ビジョン委員会委員、多賀谷光先生に教育委員会産婦人科研修の必修知識編集委員会委員を委嘱したい。

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

(3) 最高裁判所からの鑑定人候補者の推薦依頼について

6月14日付依頼案件の鑑定人候補者を推薦した。

(4) 風しんについての要望書の提出について

7月4日に、本会、日本産婦人科医会、日本周産期・新生児医学会連名で、厚生労働大臣あてに「先天性風しん症候群の予防のための緊急対策と風しんの流行を根絶するための抜本的な施策実施のお願い」の要望書を提出した。また会員へのお知らせ、風疹に関して心配しておられる女性向けのQ&Aをホームページに掲載した。[資料：総務1、2-1、2-2、2-3]

**水上尚典委員長**「国は不妊治療を受ける女性への優先的なワクチン接種方針はまだ打ち出していない。現状は都道府県でワクチン在庫が少なくなっているところがあるので情報収集したい、という姿勢である。また今後の再発を抑えるために成人男性へのワクチン接種を進める方向にはあるようである。」

**佐川典正議長**「ワクチンが不足しているために打てない病院もあり、積極的に打てというのは矛盾しているのではないか。」

**岩下光利副理事長**「35万本程度の備蓄があり、選択的に打てばまだ対応可能と聞いている。」

**水上尚典委員長**「都道府県により偏在しているようなので、国はそれに対応しようとしている。」

(5) 女性アスリートのヘルスケアについて [資料：総務3]

**岩下光利副理事長**「この問題について医師の啓発などを含めて日本子宮内膜症啓発会議から要請があり、本会としての対応につき、女性ヘルスケア委員会で検討いただく予定である。」

(6) 日本救急医学会に対して、「災害時におけるトリアージタグの向上についての要望」を提出したい。[資料：総務4]

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

(7) 日本インターベンショナルラジオロジー学会が取りまとめる医療機器「エンボスフィア」の適正使用に係る体制等の要件について、本会の意見を求められている。[資料：総務5、5-1、5-2]

**竹田省委員長**「製造承認が下りている案件であるが、添付文書で追加条件を付けるべきかどうかについてご意見をいただきたい。」

**木村正理事**「作成いただいた添付文書の追加項目を入れることでよいと思う。」

**吉川裕之理事**「適用がポイントであり、事前に産婦人科と連携するなどの仕組みは必要である。」

**木村正理事**「適用を症候性子宮筋腫と書くようにしている。」

**片淵秀隆委員長**「重篤な合併症、後遺症を取りまとめた抄録などを添付すると実情が分かるのではないか。」

**小西郁生理事長**「再度、案を作成してみなさんの意見を聞いて進めて行きたい。」

**落合和徳監事**「日本医師会疑義解釈委員会でも上がってくるので、そこでも確認ができると思う。」

本件の進め方につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

(8) 専門委員会

(イ) 生殖・内分泌委員会 特になし

(ロ) 婦人科腫瘍委員会

①7月12日にHPVワクチンの効果と安全性に関する調査委員会の第1回会合を行った。

**小西郁生理事長**「このあと第2回会合を行い、8月8日に第3回会合を行う予定である。この間、日本小児科学会から元に戻してほしいとの要望書が出ているし、FIGOからも安全性についての声明を

受領している。」

**青木大輔委員長**「調査委員会では様々な資料を集めて幅広い意見交換が行われている。8 月中には要望書ができあがってくる予定である。」

(ハ) 周産期委員会

①「硫酸マグネシウム注射剤の長期投与について」会員ホームページにお知らせを掲載した。

[資料：総務 6]

②エプタコグ アルファおよびフィブリノゲンの産科危機的出血に関する使用実態調査を実施したい。[資料：総務 6-1]

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

③本会と日本小児科学会の合同委員会を 7 月 16 日に開催した。[資料：総務 6-2]

(ニ) 女性ヘルスケア委員会

① ホルモン補充療法ガイドライン 2012 頒布状況について

7 月 17 日現在、入金済 7,107 冊、校費支払のため後払希望 54 冊。

(9) 本会事務局のサーバーの入れ替えについて

**岩下光利副理事長**「事務局のサーバーは 90%使用しているので、入れ替えをしたい。これには 120 万円程度かかる見込である。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

〔Ⅱ. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

①同省医政局看護課から、診療の補助における特定行為(案)と指定研修における領域・行為群(案)に関する意見の募集についての案内を受領した。 [資料：総務 7]

②同省雇用均等・児童家庭局母子保健課より、健やか親子 21 全国大会(2013 年 10 月 16~18 日、山形テルサ)の後援依頼を受領した。経済的負担はなく、これを応諾した。

(2) 内閣府公益認定等委員会

同委員会は先日、公益財団法人全日本柔道連盟に対して勧告を行ったが、それに関連して「公益法人の自己規律について」の声明を出した。[資料：総務 7-1]

〔Ⅲ. 関連団体〕

(1) 日本医師会

日本医師会より、医療事故調査に関する検討委員会答申を受領した。 [資料：総務 8]

(2) 日本医学会

①日本医学会より、同学会の法人化に関連した通知があった。 [資料：総務 9]

②日本医学会を通して、厚生労働省が各都道府県に対して医療・介護・福祉関係事業者における個人情報の適切な取扱いについて厳正を期すよう通知した旨の連絡があった。[資料：総務 9-1]

(3) 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

同機構より、医薬品・医療機器薬事戦略相談事業の実施と薬事戦略相談に関する実施要領の改定についての通知を受領した。 [資料：総務 10]

(4) 肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症予防ガイドライン改訂委員会

同委員会より、ガイドライン改訂作業遅滞の説明および改訂委員の推薦依頼があった。

[資料：総務 11]

**小西郁生理事長**「改訂委員は竹田省先生にお願いしたい。」

**吉川史隆理事**「厚生労働省研究班が作成するガイドラインは、研究班が解散したあと、誰が責任を持って対応していくのか不明である。本件について、本会は参加すべきと思うがその点を確認した方がよいのではないかと。」

**木村正理事**「ガイドラインは司法の場で使われることもあり、作成母体が解散することがありえる場合は、ガイドラインにせず診療指針などにした方が良いように思う。」

改訂委員に竹田省先生を推薦し、改訂委員会に本会の意見を伝えることについて、特に異議はなく全会一致で承認された。

#### (5) 日本医療機能評価機構

①同機構では、産科医療補償制度原因分析委員会での原因分析体制を強化するため、3 部会委員増員を予定しており、本会に 18 名、日本産婦人科医会に 12 名の部会委員の推薦依頼があった。

[資料：総務 12]

本件につき、周産期委員会で委員を推薦することが全会一致で承認された。

②産科医療補償制度運営組織および再発防止委員会から、本会周産期登録データベースの活用および再発防止分析における本会との共同の取組みについて検討してほしいとの依頼があった。

[資料：総務 12-1]

**岩下光利副理事長**「周産期登録データベースの使用については、情報管理委員会で審議していただくことになる。」

**久保田俊郎委員長**「日本医療機能評価機構再発防止委員会のメンバーには非会員も入っているが、登録データを利用させてよいか確認したい。」

**岩下光利副理事長**「再発防止委員会のメンバーの多くは会員であり、会員のデータベース利用ということで問題ないと思う。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

③本会が本年 2 月に提出した「産科医療補償制度の原因分析・再発防止に係る対策要請対応に関する要望書」への回答および「産科医療補償制度見直しに係る中間報告書」を受領した。

[資料：総務 12-2]

④同機構から、産科医療補償制度の「補償対象の範囲と考え方」および「参考事例」について、本会会員への案内の依頼があった。会員専用ホームページに掲載して周知したい。

[資料：総務 12-3]

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

#### (6) 日本がん治療認定医機構

同機構から、教育セミナー見学会開催の案内、関連学会連絡委員会の議事録および推薦理事についての報告を受領した。[資料：総務 13]

#### [IV. その他]

(1)株式会社博報堂より、市民公開講座「ワクチンギャップを考える」(2013年8月11日、国立成育医療研究センター講堂)の共催名義使用依頼を受領した。経済的負担はなく、これを応諾した。

(2)一般社団法人心の絆プロジェクトより、被災地支援活動「心の絆プロジェクト」への後援名義使用依頼を受領した。同プロジェクトは、被災地でのシンポジウムや個別訪問活動等で健康相談などを行う予定である。経済的負担はなく、これを応諾したい。

(3)生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会から、研究会「卵子提供の制度設計を考える」(2013年9月14日、キャンパスプラザ京都)の案内を受領した。

(4)日本子ども虐待防止学会第19回学術集会信州大会(2013年12月13~14日、まつもと市民芸術館ほか)の後援名義使用依頼を受領した。経済的負担はなく、これを応諾したい。

(5)NPO法人Fineより、「Fine祭り2013ちゃんと知りたい男女の不妊」(2013年11月3日、東京THE GRAND HALL)の後援名義使用依頼を受領した。経済的負担はなく、これを応諾したい。

## 2) 会 計 (吉川史隆理事) 特になし

## 3) 学 術 (峯岸敬理事)

### (1) 学術委員会

#### (イ) 会議開催

①学術講演会評価委員会を7月2日に開催した。

#### (ロ) 他団体特別賞推薦依頼について

①「平成25年度日本医師会医学研究奨励賞」

日本医師会に阪埜浩司会員の研究を推薦した(平成25年6月4日)。

②「研究業績褒章(上原賞)」「平成25年度神澤医学賞」「朝日賞」

各理事、学術委員会委員に推薦を依頼した。

### (2) プログラム委員会関連 特になし

(イ) 第66回学術講演会プログラム委員会

(ロ) 第67回学術講演会プログラム委員会

(ハ) 第68回学術講演会プログラム委員会

## 4) 編 集 (藤井知行理事)

### (1) 会議開催

7月26日に第2回和文誌編集会議ならびに第1回JOGR編集会議を開催した。

### (2) 英文機関誌(JOGR)投稿状況:2013年投稿分(7月16日現在)

投稿数662編(うちAccept66編、Reject307編、Withdrawn/Unsubmitted119編、Under Revision46編、Under Review124編、Pending0編、Expired0編)

### (3)JOGR AEについて

① 下記の方々に2015年6月末までのAEを委嘱した。

**藤井知行理事**「2年を任期として、委嘱状を出した。」

明楽 重夫	和泉俊一郎	板倉 敦夫	伊東 宏晃	内田 聡子
大口 昭英	梶原 健	梶山 広明	加藤 育民*	久具 宏司
小林 陽一	古山 将康	榊原 秀也*	佐藤 豊実	塩沢 丹里
下平 和久*	下屋浩一郎	関根 正幸*	園田 顕三	富松 拓治
永瀬 智	奈須 家栄	西 洋孝*	濱田 洋実	早川 智
藤村 正樹	藤原 浩	松田 秀雄	矢内原 臨	山澤 功二
山下 隆博*	渡部 洋			

(以上32名：\*編集担当幹事兼務)

②JOGRの投稿数の増加に伴い、AEの業務が多くなっているのでさらに増員を図りたい。

**藤井知行理事**「専門委員会報告を英文にしてJOGRに載せたい。近日中に依頼をお送りするので、よろしくお願ひしたい。」

## 5) 渉外 (木村正理事)

### (1) 会議開催

8月30日に第1回渉外理事・幹事会議を開催の予定である。

### [FIGO 関係]

(1)2014年7月5～6日開催のFIGO Executive Board meetingについて、東京を開催地とする提案をFIGOへ提出し、これへの応諾回答があった。[資料：渉外1、1-1]

**木村正理事**「理事会開催費用として2,000万円程度かかる可能性があるが、企業展示なども少し入れてコストの抑制を図りたい。これは2021FIGO誘致についての重要なステップと考えている。」

**落合和徳監事**「サイトビジットはどのように行うのか。」

**木村正理事**「これは現地の医療事情を知ってもらうプログラムで、従来は途上国で行っていた。今回は途上国に参考になる情報を提供する目的で実施することになる。」

**小西郁生理事長**「FIGOから早々に応諾回答がきた。企画、集金面でのご協力をお願いしたい。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

(2) ラテンアメリカからのFIGO理事国(7カ国)のうち、コロンビアとボリビアの理事が日本の医療事情視察ツアーに参加の予定である。(ツアー日程：11月25日～12月2日)

**木村正理事**「本来は公益事業推進の目的でいただく予定の寄附金を充当する予定であったが、その寄附がいただけなくなったとのことである。本会よりの出費が必要となってしまったが、ご支援をお願いしたい。」

### [AOFOG 関係]

(1) AOCOG2013 (10月20～23日、於：タイ バンコク) について

①AOCOG2013プログラム委員長より、ロボット支援下手術に関する演者推薦の依頼を受け、東京

医科大学 井坂恵一教授を推薦し、10月21日に講演を行うこととなった。

②10月22日開催の総会に本会より木村正渉外担当常務理事、および井坂恵一第68回学術集会長を派遣の予定である。

③AOCOG2013プログラム委員長より、10月23日のランチョンシンポジウムのサポートを依頼され(会場費およびランチボックスをAOCOG2013が負担)、座長 東京大学 藤井知行教授、演者 東京医科大学 伊東宏絵講師、および大阪市立大学 古山将康教授によるシンポジウムを開催することとなった。

(2) 第66回~68回日産婦学会学術講演会宣伝チラシをAOFOG加盟学会へメール配信いただくようAOFOG事務局へ依頼したところ、加盟学会 Council Member、President、およびAOFOG Executive Boardメンバーへメールが配信された。また、AOFOGの提案を受け、AOFOGホームページに第66回のバナーを掲載し、学術講演会英語ホームページへリンク設定した。

(3) 北部インドの洪水に対するFOGSIへの支援について[資料：渉外2]

**落合和徳監事**「日本も東日本大震災の際には支援をいただいているので、FIGO加盟団体からの依頼であればできる範囲で対応すべきである。」

**木村正理事**「過去の事例を確認して、それに合わせた金額で対応したい。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

[その他]

(1) 本会ホームページ国際医療情報ページに、“WHO Multi-country Study on Women’s Health and Domestic Violence against Women” および “Responding to intimate partner violence and sexual violence against women – WHO clinical and policy guidelines” を掲載した。

(2) ACOG ACM 2013 と SOGC ACM 2013 に派遣された若手医師の報告を受領した。

**嘉村敏治監事**「9月27日にソウルで日韓ジョイントカンファレンスを開催する。今回のテーマは生殖・内分泌であり、演者に杉野法広先生、大須賀穰先生、丸山哲夫先生、座長に吉村泰典先生、峯岸敬先生、岩下光利先生にお願いすることになった。当日は花輪の手配をお願いしたい。」

## 6) 社 保 (青木大輔理事)

(1) 会議開催

7月26日の常務理事会後に第2回社保委員会を開催の予定である。

(2) 日本産婦人科医会よりの医療保険委員会委員の推薦依頼を受け、青木大輔社保委員長、西洋孝社保主務幹事を推薦した。

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

(3) 厚生労働省より医療機器「エンボスフィア」の適正使用について通知を受け、会員への周知の為、本会ホームページに掲載した。[資料：社保1]

(4)「第4版 産婦人科医のための社会保険ABC」(2011年1月発行)について、600部増刷(4刷)が決定した。(合計発行部数:3,300)

(5)平成26年度診療報酬改定提案について、本会との厚生労働省ヒアリング日程が8月26日に決定した。本会より、青木大輔社保委員長、西井修社保副委員長、西洋孝社保主務幹事、市塚清健社保委員、および、左合治彦国立成育医療研究センター病院周産期センター長が出席し、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術、および胎児MRIについて説明を行う予定である。

**落合和徳監事**「総務6-1に日本医師会疑義解釈委員会の適用外薬や未承認薬についての資料があり、FDAやEUで承認されていて日本で承認されていない薬のリストがまとめてある。社保委員会でもこれを参考にして提案を進めていただきたい。」

## 7) 専門医制度 (吉川裕之理事)

(1)平成25年度専門医認定二次審査

東京会場(日本都市センター)と大阪会場(千里ライフサイエンスセンター)で、7月27日に筆記試験、28日に面接試験を実施する。

(2)地方委員会宛に専門医認定一次審査結果通知書、面接担当者に案内を送付した(6月27日)。

また、一次審査合格者に対し審査通知と二次審査受験票を、再申請者に対し二次審査受験票を送付した(6月26日)。

(3)日本専門医制評価・認定機構

①同機構からの専門医資格についてのアンケートに回答した。[資料:専門医1]

②同機構は今般、「専門医制度研修プログラム整備指針」を完成させた。この指針を参考にして、2013年度中に各診療科で専門医育成の標準的な研修プログラムの作成することを要望している。  
[資料:専門医2]

**吉川裕之理事**「本会の施設単位の研修プログラムモデル案について作成中であり、9月23日の専門医制度委員会で検討することになる。また指導医についてもその際に検討予定である。」

## 8) 倫理委員会 (苛原稔委員長)

(1)本会の見解に基づく諸登録(平成25年6月30日)

①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録:44研究

②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録:577施設

③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録:577施設

④顕微授精に関する登録:520施設

⑤非配偶者間人工授精に関する登録:15施設

(2)着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

7月12日現在申請342例[承認284例、非承認4例、審査対象外20例、取り下げ2例、照会17例、審査中15例](承認284例のうち8例は条件付)

(3)会議開催

①第1回生殖補助医療の法制化に関する小委員会(仮)を8月6日に開催する予定である。

**苛原稔委員長**「このテーマは今後国内で検討が進む可能性があるため、本会としても現状分析と戦略を考える目的でスタートさせる予定である。」



②平成 25 年度第 3 回着床前診断に関する審査小委員会を 8 月 6 日に開催する予定である。

③平成 25 年度第 3 回倫理委員会を 8 月 21 日に開催する予定である。

(4) 母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設認可状況

6 月 17 日付 山王病院

6 月 26 日付 岡山大学病院

7 月 16 日付 大阪府母子保健総合医療センター

7 月 25 日付 聖路加国際病院、大分大学医学部附属病院

## 9) 教育 (八重樫伸生理事)

### (1) 会議開催

①8 月 30 日に第 2 回教育委員会を開催する予定である。

②8 月 30 日に平成 26 年専門医認定試験問題作成委員会を開催する予定である。

③8 月 31 日に The 99<sup>th</sup> Annual Congress of KSOG 派遣予定者ならびにコンダクター、渉外・教育委員会による派遣事前打合会を開催の予定である。

### (2) 「産婦人科研修の必修知識 2013」について

①電子版(iOS 版並びに Android 版タブレット端末専用)を 7 月 6 日に販売を開始した。

7 月 15 日現在、必修知識単体 69 件、用語集付き 45 件、合計 114 件の申込みを受け付けた。

### (3) 「用語集・用語解説集 改訂第 3 版」について

①電子版(iOS 版並びに Android 版タブレット端末専用)を 7 月 6 日に販売を開始した。

7 月 17 日現在 11 件の申込みを受け付けた。

②書籍版頒布状況について

7 月 17 日現在、入金済 1,932 冊、校費支払のため後払希望 72 冊。

### (4) 2014 年海外派遣選考について

2014 年 ACOG ならびに TAOG 派遣者の募集を行った(派遣予定: ACOG6 名、TAOG5 名)ところ、21 名の応募があったので、従来通り、書類による審査を行った。

海外派遣選考委員は教育委員会委員ならびに学術集会長(次期、次々期も含め)、渉外担当常務理事にお願いした。

### (5) 平成 26 年専門医認定試験問題作成委員会委員について

4 分野 4 名の責任者・副責任者・主担当幹事を決定し、各責任者に試験問題作成委員の推薦をいただいた。委員構成については従来から公表はしていない。

### (6) 「産婦人科研修の必修知識 2011」頒布状況について

7 月 17 日現在、入金済 6,942 冊、校費支払のため後払希望 31 冊。

### (7) 「若手のための産婦人科プラクティス」頒布状況について

7 月 17 日現在、入金済 2,168 冊、校費支払のため後払希望 18 冊。

## 10) 地方連絡委員会 (平松祐司副理事長) 特になし

## II. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

### 1) 広報委員会 (加藤聖子委員長)

(1) 会議開催

7月18日に第1回広報委員会を開催した。

(2) JOB-NET 公募情報について

①掲載状況について [資料：広報1]

②掲載対象施設について [資料：広報2]

**加藤聖子理事**「今回いただいた徳之島からの要請に応えられるようにするために、掲載規約の細則を、『地方連絡委員の推薦があり、本会が特別な事情があると認められた施設』というように変更して、対象施設について柔軟に対応できるようにしたい。」

**吉川史隆理事**「規約では対象施設について『公的病院』となっており、公立病院であることが必須としていない。規約を変更しなくても対応は可能ではないか。」

**嘉村敏治監事**「過去にも様々な病院が議論の対象になっており、明確な線引は示しておいた方がよい。」  
本件につき、特に異議はなく、広報委員会からの提案が全会一致で承認された。

(3) ホームページについて [資料：広報3]

**加藤聖子理事**「広報委員会では、バナー広告について本会のホームページにふさわしい会社を幅広い業種から選んではどうか、という意見があった。」

**嘉村敏治監事**「過去に自動車メーカーなども検討対象にしたが、これはやや時期尚早ではないかと思う。また公益法人として公平性にも配慮する必要がある。」

**吉川史隆理事**「逆に本会に身近な製薬会社や乳業会社は避けた方がよい、という意見もある。その考え方を整理したうえで、バナー広告は大いに集める方向でよいと思う。」

**吉川裕之理事**「学術集会の展示でも税理士事務所の申し込みがあり、判断に苦しんだ。医療、健康など対象領域についてルールがあった方がよいと思う。」

**藤井知行理事**「企業は金を出してバナー広告を出す以上、メリットがあるはずである。例えば乳業会社のバナーが出ていると本会がミルク使用を推奨していると取られかねない。何を載せるかについては相当慎重に判断する必要がある。」

**吉村泰典監事**「過去に妊婦さんのシートベルト着用やチャイルドシートの装着などの観点で自動車メーカーにアプローチしたこともある。本会は様々な観点から社会との接点を考え、また大企業が本会を支援していることを社会に示すことは大事だと思う。」

**水上尚典委員長**「本会が社会のなかで活動するうえで、全く関連のない業種は少ない。広告を出す企業が社会的に問題のない組織であることを確認するルールを作ればよいのではないか。」

**種部恭子特任理事**「開かれた学会の立場からバナー広告対象を広げるのは賛成である。さらに広告を載せる際に『女性の健康に資する』という観点をに入れてもらうことも大事だと思う。ところで公益法人の場合、広告収入が増えることには問題ないのか。」

**小西郁生理事長**「公益事業に賛同してもらってお金をいただくことで事業展開していくのは公益法人の基本的なあり方ではある。」

**苛原稔理事**「対象を広げるのは賛成だが、広告掲載中にその企業が問題を起こした場合の対処なども考えておいた方がよい。」

**嘉村敏治監事**「会員ページに載せるか一般ページに載せるかの判断も必要である。」

**落合和徳監事**「学会の主旨を明示して、『企業からは公益に資する金を集め、いただいた金についてはホームページなどで公開する』という軸が必要ではないか。現在受け入れている寄附を含めて対外的な説明責任の観点も入れて、本件は検討していただきたい。」

**小西郁生理事長**「その点については継続審議としたい。」

**加藤聖子理事**「広報委員会で検討して、また案を提出したい。」

**加藤聖子理事**「JQGR との相互閲覧可能となったスカンジナビア、オーストラリア・ニュージーランドの雑誌を会員ホームページのバナー掲載したい。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

(4) ACOG Website 会員専用ページログイン人数について [資料：広報4]

ACOG Website 会員専用ページへのログインについて ACOG が 8 年目の契約更新を承諾し、本会より 9,700 名分の会費を ACOG へ送金した。

(5) Anetis2013 夏号について [資料：広報無番]

## 2) 未来ビジョン委員会 (平松祐司委員長)

(1) 未来ビジョン委員会の中に、新しいホームページ (産婦人科の広場) に関する委員会を立ち上げた。委員は平松祐司先生、竹田省先生、加藤聖子先生、澤倫太郎先生、阪埜浩司先生、西ヶ谷順子先生、宮本雄一郎先生、矢幡秀昭先生、板岡奈央先生、千草義継先生である。

(2) 新しいホームページに関する委員会を 7 月 16 日に開催した。

(3) 第 1 回未来ビジョン委員会を 7 月 26 日に開催した。

(4) 未来ビジョンでのプロジェクト Plus One 達成のための事業計画 [資料：未来ビジョン 1]

① プロジェクト Plus One : ALSO+日産婦セミナー開催予定 [資料：未来ビジョン 2]

**平松祐司委員長**「現在 16 大学で開催予定であるが、今後は連合地方学会ベースで初期研修医と学生を対象に開催し、本会からも費用を含めて支援する形にしたい。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

② 新しいホームページについて [資料：未来ビジョン 3]

**平松祐司委員長**「産婦人科のブランド力を上げ、国民からの敷居を下げるために本会のホームページを立ち上げ、継続的なアプローチを進めたい。本件は 10 年間で 2 億円程度かかる可能性がある。」

**加藤聖子理事**「費用見積りについて、比較検証は行っているのか。」

**澤倫太郎幹事長**「単純に比較できるものではないが、広告代理店に頼むとこれの倍以上するようだ。」

世間相場を考えると本件は比較的安いと考えている。」

**平松祐司委員長**「今後コンテンツを作成するなかでは、各委員会などの協力も必要になる。本会挙げて新しいものを作るという意味統一が不可欠となる。」

**吉川裕之理事**「本件についてあまり慌てて進める必要はないように思う。この施策で小中高生が産婦人科医になりたいと思うようになるのか、他にも手立てはないかについても検討が必要だろう。」

**木村正理事**「産婦人科医に対する世間のイメージを上げる必要はある。実際、ワクチンを打つ場合でも内科、小児科には行くが産婦人科には来ないといった敷居の高さはある。即効性よりも中長期的な取り組みとして考えるべきだろう。ただ長期にわたる場合、コンサルタント側のリスクもあるので、途中で中断できる仕掛けも必要である。」

**苛原稔理事**「直接すぐに会員の増加にはつながる企画ではないが、イメージ戦略は重要である。」

**嘉村敏治監事**「本会は学術団体であるので、明日の医療を作るために何をやるのか、また基礎研究の方向性なども入れてほしい。」

**落合和徳監事**「今までにない大きなプロジェクトであり、今後の本会運営に強い影響を及ぼすものである。目的と手段について十分に検討確認し、効果測定の方法なども決めておかないと会員に納得してもらうことは難しいのではないかと。」

小西郁生理事長「産婦人科のイメージを変えて女性の健康問題に取り組んで行くべき時期に来ており、その手段としても比較的よいものになっていると思う。これを進めて行くに当たっての様々な意見をいただいたので、条件付きで進めてさらに具体的に詰めていく、ということによいか。」

小西郁生理事長の提案につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

#### ③日産婦学術集会時に初期研修医、学生発表のセッションを実施

平松祐司委員長「リクルートのため早くからコンタクトする仕掛けとして考えている。」

齋藤滋委員長「サマースクール参加者で、初期研修医は62%、学生は20%くらいが入局している。参加後のサポートが重要であり、フォローしてもらいたい。」

小西郁生理事長「各大学に通知し学生に発表させるような演題を考えておくように依頼するとよい。」

吉川裕之理事「一般演題とは別の締切で検討を進めたい。」

水沼英樹委員長「本会の学術集会に学生を連れていくには、相応の費用が掛かる。地方学会に参加させてそこに本会が援助するということも考えられないか。」

吉川裕之理事「学術集会への学生の参加は、最初は各大学何名という形になるのではないか。」

小西郁生理事長「本件を進めるなかで解決していきたい。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

#### ④広報紙 Anetis の有効利用

平松祐司委員長「Anetis の真中の3 ページを産婦人科が伝えたいメッセージを掲載したい。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

平松祐司委員長「Plus One 活動にも各大学で温度差があり、目線を統一させるために、医局長会議を開催して目的の周知と情報交換の場としたい。」

小西郁生理事長「医局長だけでなく、実際に学生と話をするクラスの人を加えて、共通認識を持つとともに、横の繋がりを作ってこのプロジェクトを一緒に進めていくようにしたい。」

平松祐司委員長「次々回学術集会担当校の医局長が中心となって早々に開催準備をお願いしたい。」

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

### 3) 震災対策・復興委員会 (岩下光利委員長)

7月26日に第1回震災対策・復興委員会を開催する。

岩下光利委員長「震災対策マニュアルと福島への支援問題を検討予定である。」

### 4) 診療ガイドライン委員会 (岩下光利学会側調整役)

(1)産科編委員会(水上尚典委員長)

①「産婦人科診療ガイドライン—産科編2011」頒布状況について

7月17日現在、入金済15,587冊、後払希望48冊。

②コンセンサスマーティングの開催

第3回コンセンサスマーティングを7月14日に横浜で開催した。第4回コンセンサスマーティングを8月4日に東京で開催する予定である。

(2)産科編評価委員会(海野信也委員長) 特になし

(3)婦人科外来編委員会(八重樫伸生委員長)

- ①「産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編 2011」頒布状況について  
7月17日現在、入金済11,828冊、後払希望13冊。
- ② 機関誌への掲載  
「産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編 2014」CQ案を機関誌10号と11号に分けて掲載する予定である。

(4) 婦人科外来編評価委員会（峯岸 敬委員長） 特になし

## 5) コンプライアンス委員会（工藤美樹委員長欠席につき、増山寿主務幹事）

- (1) 日本医学会、日本製薬工業協会から製薬企業主催・共催の招聘講演にかかるCOI開示についての周知依頼を受領した。機関誌等に掲載して会員への周知を図りたい。[資料:コンプライアンス1]

## 6) 医療改革委員会（海野信也委員長）

- (1) 第5回「産婦人科動向意識調査」（8月31日締切）を実施する。[資料：医療改革1]

## 7) 男女共同参画・女性の健康週間委員会（片渕秀隆委員長）

- (1) 会議開催  
8月30日に第1回男女共同参画・女性の健康週間委員会を開催の予定である。
- (2) 地方学会担当市民公開講座について [資料:男女共同1]

## 8) 若手育成委員会（齋藤滋委員長）

- (1) 産婦人科サマースクールについて  
①6月30日17時締切の段階で381名の応募があった。

初期1年	女：71	男：38
初期2年	女：93	男：49
後期		男：3
	164	90
学生4年		男：1
学生5年	女：50	男：25
学生6年	女：24	男：27
	74	53

折角の参加希望であるので全員を受け入れる方向で準備を進めている。

- ②参加者優先のため委員・幹事の先生には会場での宿泊が難しく、ビジネスホテル等への分宿をお願いすることになるが、ご理解をいただきたい。
- ③なお、会場であるホテル翔峰にはこれ以上の大人数になった場合、会場のキャパシティや安全を考慮し辞退したいとの意向が示されているので、来年以降については、募集方法を含め再検討したい。
- ④今回からご協力をいただいた若手医師に対し、感謝状を贈る予定である。
- ⑤「産婦人科研修の必修知識 2013」が発刊されるということで、教育委員会のご協力もあり、サマースクールアドバンスコース参加者に「産婦人科研修の必修知識 2011」を記念品として贈呈する予定である。

(2) 産婦人科スプリング・フォーラム

当初の予定通り平成26年3月1日2日の2日間にわたり京都・京都平安ホテルで開催する予定である(募集人数:70名)。

10月から募集を開始するが、産婦人科10年前後の先生を対象としたセミナーであるので、医局等のご協力をいただいで多くの皆様に参加いただきたいと考えている。

9) 臨床研究審査委員会 (水沼英樹委員長)

水沼英樹委員長「留任予定の外部委員について、意思確認を実施中である。」

10) 医療安全推進委員会 (竹田省委員長)

(1)6月24日に日本医療安全調査機構の定時社員総会が開催され、竹田省委員長が出席した。

総会では、①今後本機構は、一般社団法人より公益社団法人へ移行する予定である、②秋の臨時国会で医療法21条の変更の法律を上程する予定であることが報告された。なお平成25年度の本会負担金は1,720,000円である。[資料:医療安全1]

(2)一般社団法人医療安全全国共同行動から6月16日に開催された記念シンポジウムの報告と同行動への入会依頼を受領した。[資料:医療安全2]

(3)日本医療安全調査機構がとりまとめた「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」平成24年度事業実施報告書および評価結果報告書概要版を受領した。[資料:医療安全3]

11) 公益事業推進委員会 (竹下俊行委員長) 特になし

12) 情報管理委員会 (久保田俊郎委員長) 特になし

13) 婦人科領域のロボット支援下腹腔鏡手術に関する委員会 (井坂恵一委員長欠席につき西洋孝主務幹事)

(1) 会議開催

7月26日に第3回婦人科領域のロボット支援下腹腔鏡手術に関する委員会を開催した。

(2)本会ホームページ会員専用ページより「婦人科悪性腫瘍に対するロボット支援下手術に関する指針(案)」について会員の意見を募集中である。(8月10日締切)。

III. その他

(1)平成25年度議事録作成幹事予定表について [資料:その他1]

本件につき、特に異議はなく全会一致で承認された。

以上

